農林水産部　農村整備課

Ｒ４　未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

農村地域防災力強化事業（Ｒ４～Ｒ５）

現状分析と課題

現状分析

◆県内では、時間30㎜以上の大雨回数が30年間で約3倍（8.4回/年）に増加

◆国では、河川管理者主体の治水から、河川流域全体であらゆる関係者が協働して行う流域治水へ転換

◆農業関係では、水田やため池を活用した雨水の一時貯留の取組への期待

水田貯留の取組面積
（全国：4万ha[238万haの1.7%]）
（本県：取組なし[全体面積8万ha]）

課題

■ほ場整備実施地区では水田貯留（田んぼダム）に取り組む方針であるが、流域全体での取組体制が未整備

■水田やため池の活用には、関係者の協力を得ることが必要不可欠であるが、情報が不足

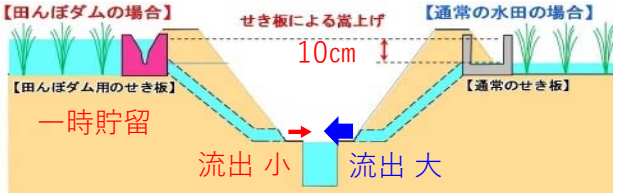
事業の内容（アウトプット）

本県において、大雨発生頻度の増加が見込まれる中、洪水被害の軽減を図るため、農村地域の水田や農業用ため池等が持つ雨水貯留機能の効果検証を行い、地域協働による雨水貯留の取組を広くＰＲし普及させることで、農村地域の防災力を強化する。

取組１ 水田及びため池の貯留効果検証（新規）

(1)農村地域の雨水貯留に係る検討会（県,蓬田村,改良区,農家,学識経験者）
①先進地視察[R4]（新潟県）
②水田及びため池を活用した雨水貯留効果の検証[R4]（蓬田川をモデル）
③水田貯留「田んぼダム」効果実証試験[R4]（蓬田村1ha程度）
④田んぼダム、スマート田んぼダム取組マニュアルの作成[R5]

(2)非かんがい期の農業用ため池の管理実態調査（県内139箇所）
・農業以外の利用状況、管理状況、貯水開始時期等



田んぼダム用のせき板

取組２ 水田等を活用した雨水貯留の取組促進（新規）

(1)田んぼダムやため池の雨水貯留の取組に係る関係者向けの説明会開催
①田んぼダム実証ほ場現地見学会[R4]：１回（７月）
②流域で取り組む雨水貯留に係る説明会：県内２会場 各１回（１月）

(2)農家等関係者向けのパンフレットを作成し普及[R5]

事業の目指す姿

事業のアウトカム

◆水田やため池を活用した雨水の流出抑制対策に取り組む流域内の地区数

R2：取組なし
↓
R6：各流域１地区以上

最終アウトカム

◆多面的機能支払交付金の活動組織等を核とした地域の協働活動による広域的な取組の展開

◆健全な「水循環システム」の次世代への継承

【関連ＫＰＩ等】
・30a以上のほ場整備済面積
R2:5.4万ha→R5:5.5万ha

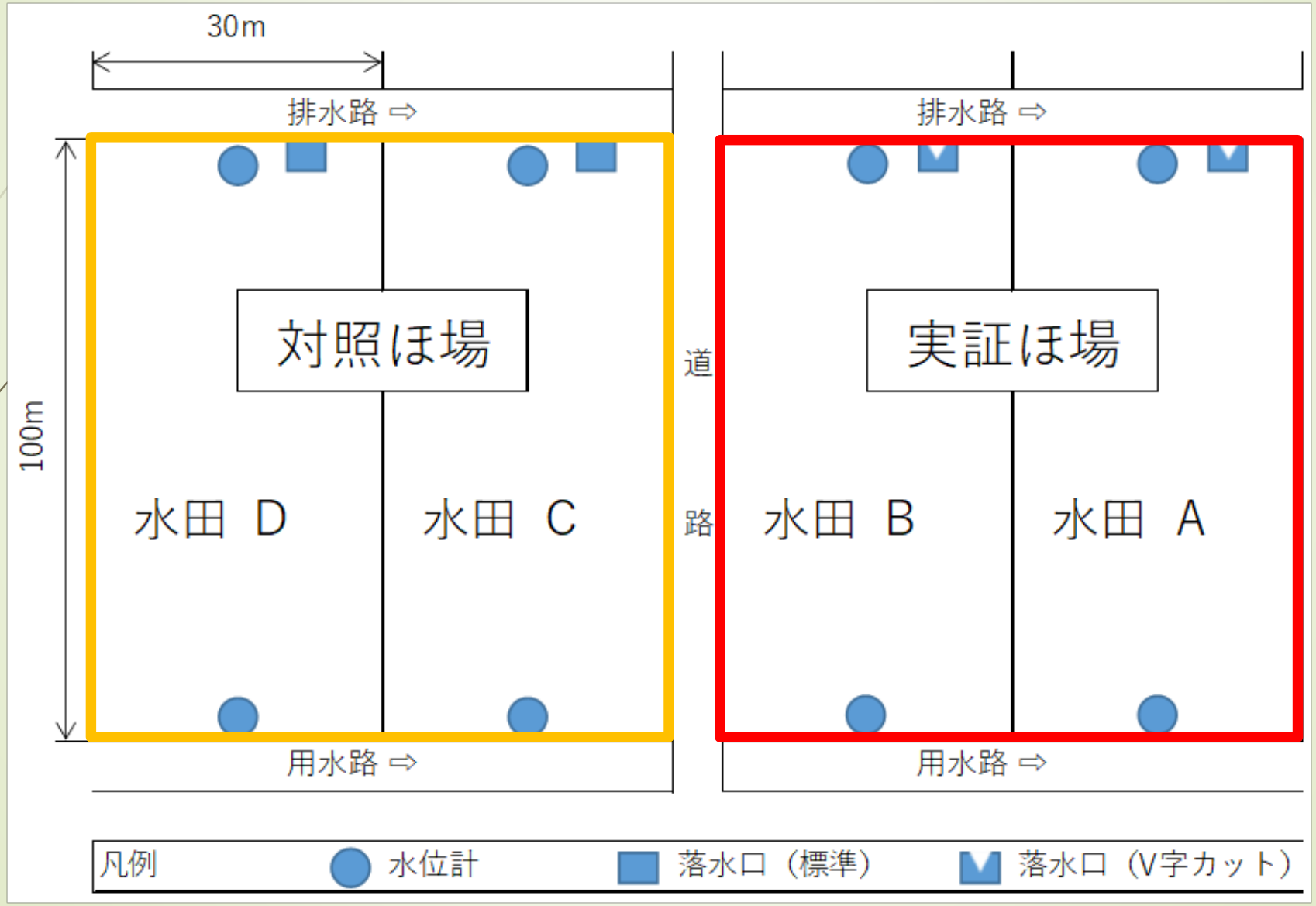
・30a以上のほ場整備済面積
R2:68% → R5:69%

田んぼダム効果実証試験

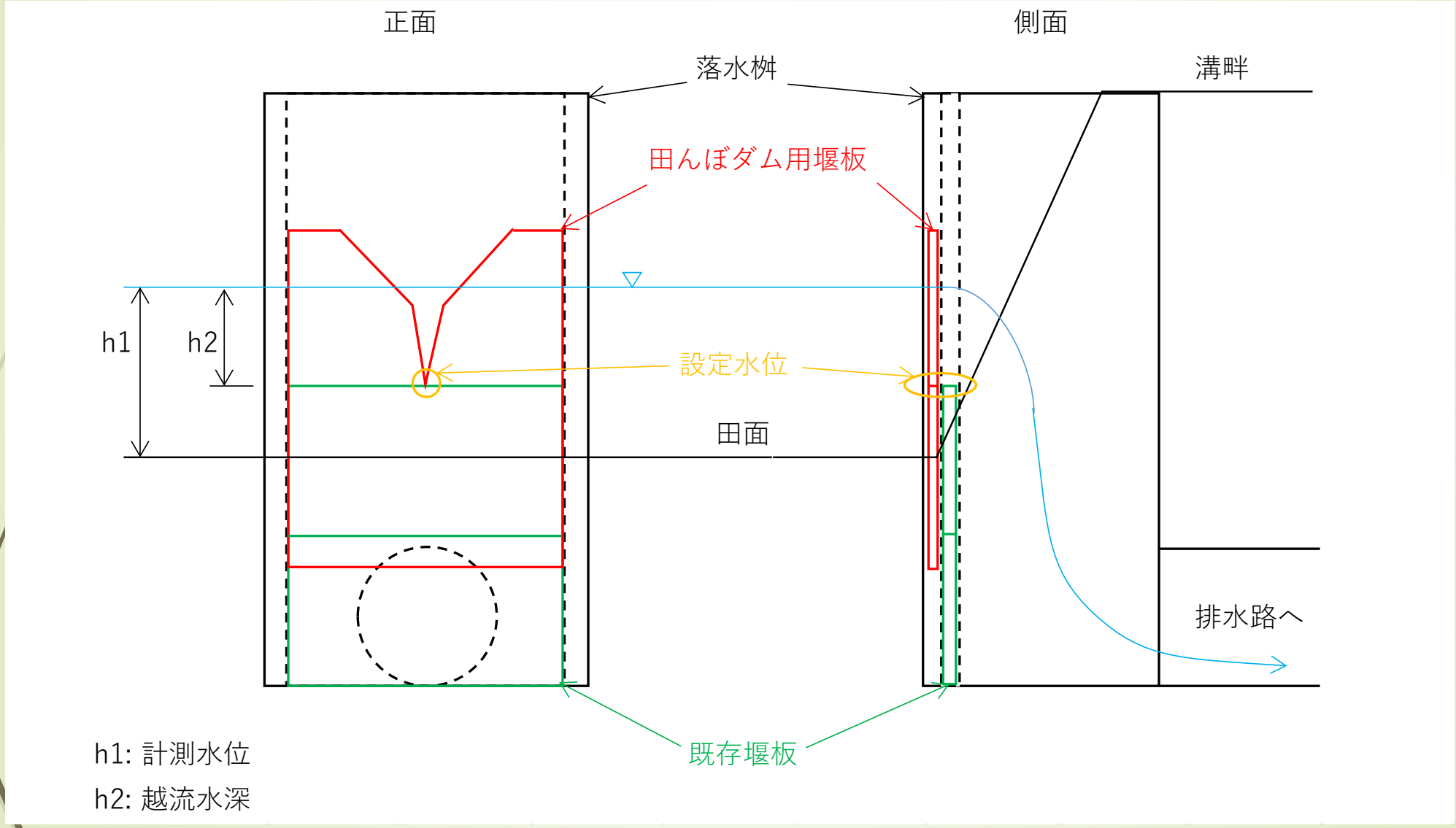
試験ほ場位置図

蓬田雨量観測局
試験ほ場
阿弥陀川
消防団第四分団屯所
小松工務店
中村商店
蓬田郵便局
小館遺跡
蓬田村役場
村の駅 よもっと
蓬田村立蓬田小
JA青森 蓬田支店
蓬田
コメリハード&グリーン 津軽蓬田店
森菓子店
ファミリーマート 蓬田バイパス店
280
長科川
犬の美容室

試験ほ場模式図（30アール×４枚）



せき板設置模式図

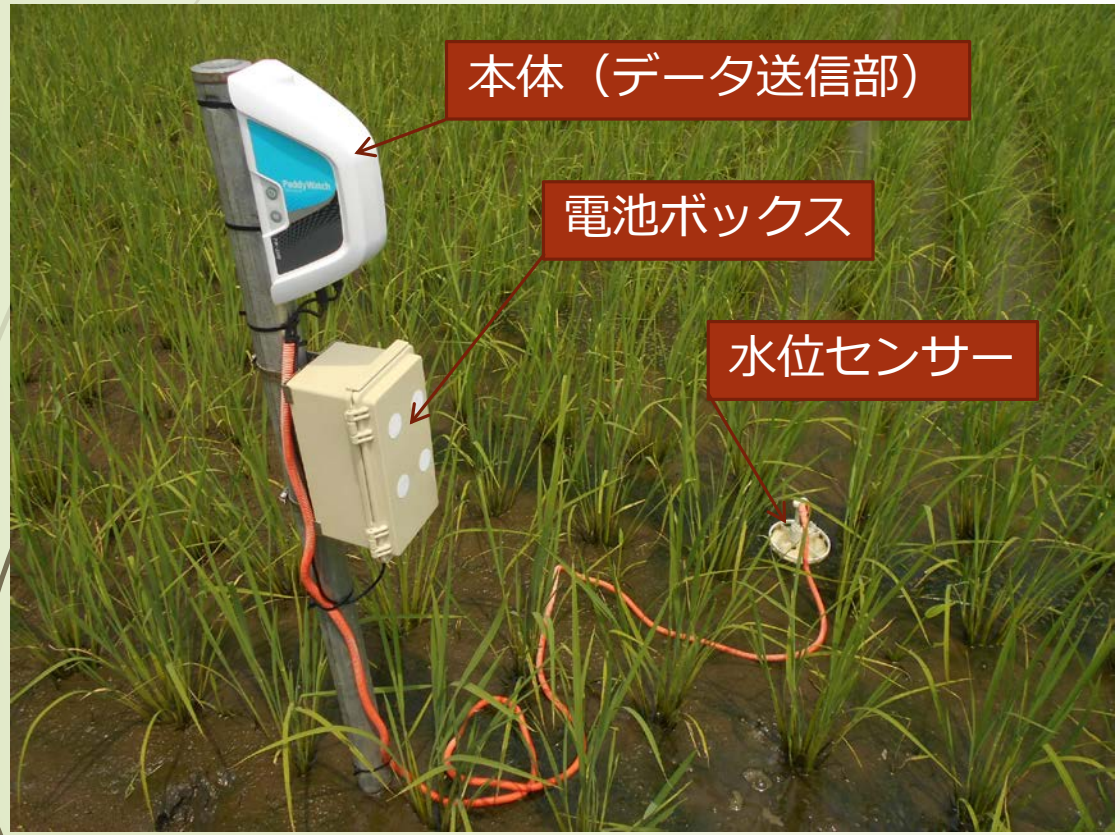
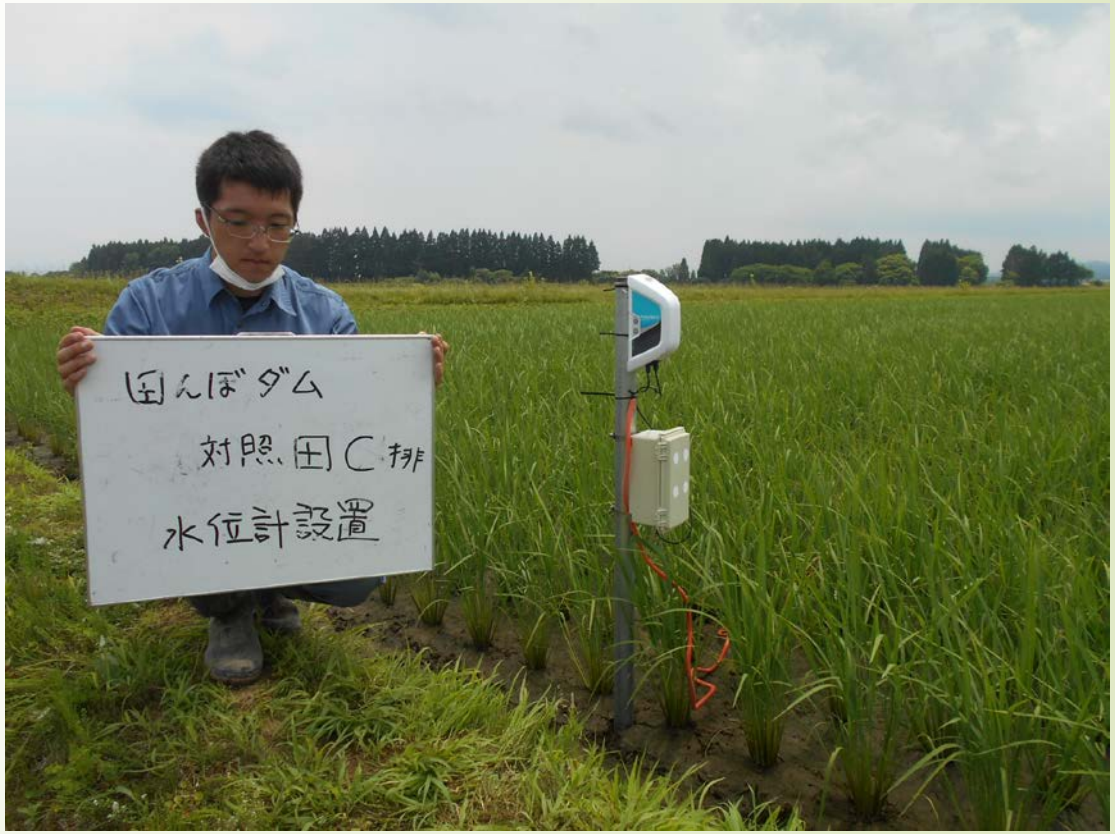


h1: 計測水位

h2: 越流水深

せき板の設置

設置前

設置後

水位計の設置